

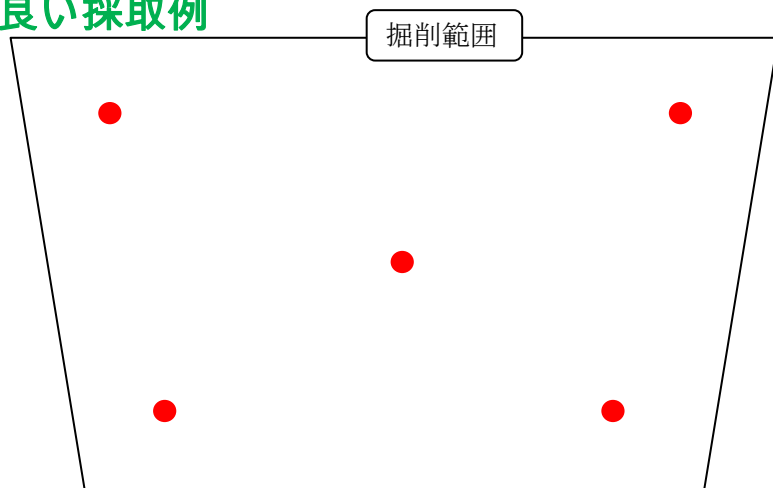
搬入しようとする土砂の発生場所における試料採取について

埋立てを行うものは、使用する土砂が安全であることを確認したうえで、埋立てを行わなければなりません。

万が一、搬入した土砂に汚染土砂が混入していた場合には、その除去等は埋立てを行う者の責務となります。

発生場所が広い場合の試料採取位置

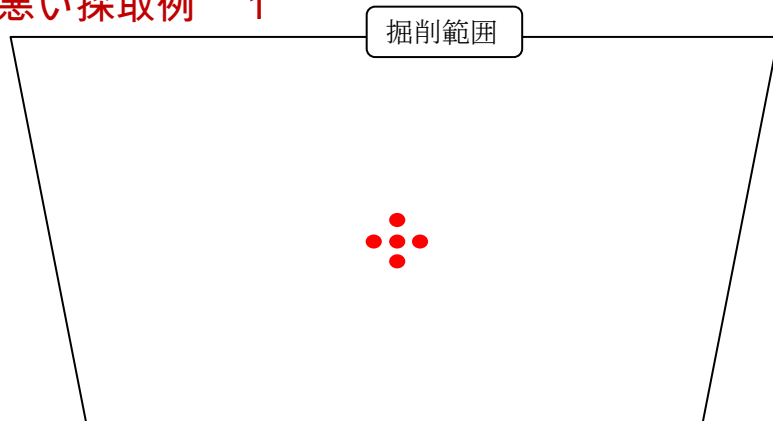
良い採取例



搬入しようとする土砂の発生場所が広い場合は、各試料の採取位置は環境省令に準ずることなく、搬出土砂全体の安全を確認できるように掘削範囲で均等に採取します。

試料採取の深さは、掘削深さの中間で採取します。

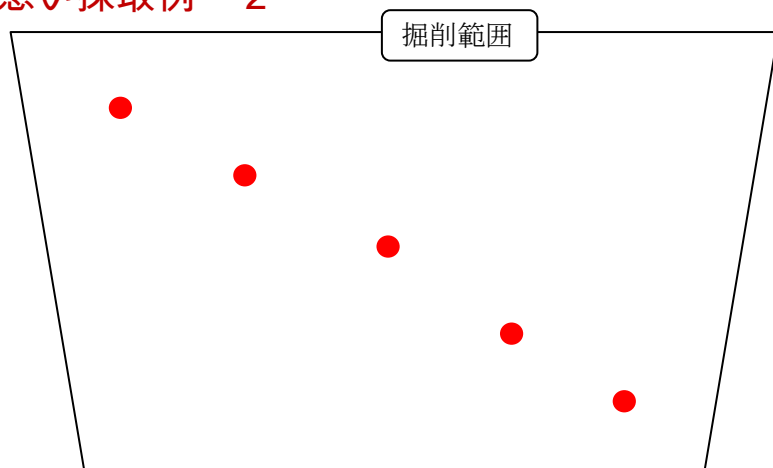
悪い採取例 1



発生場所の一部で採取した場合には、搬入する土砂の一部の汚染状態しか把握できません。

掘削範囲の中央であっても全体を把握することはできません。

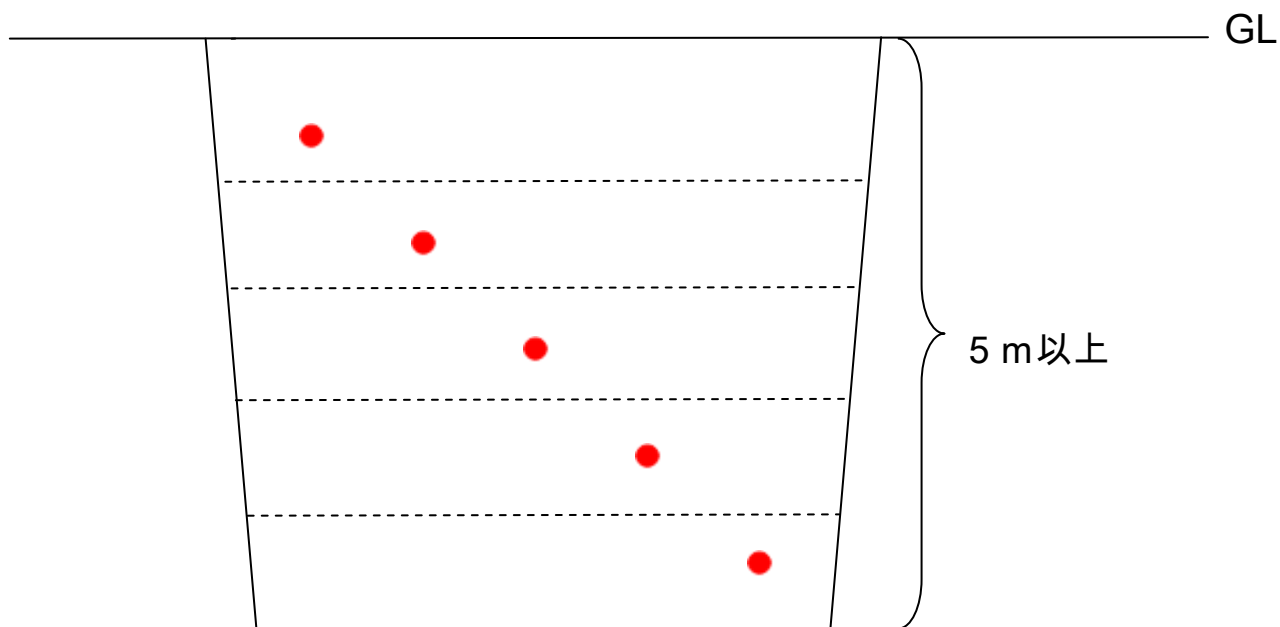
悪い採取例 2



土砂発生元の掘削深さが 5 m 以上ある場合の試料採取について

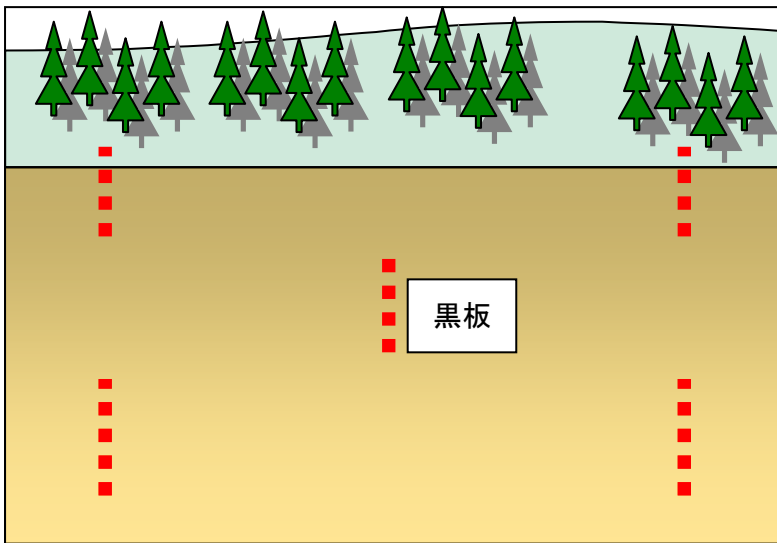
下図のように深度方向を分けて、資料採取深さを考え採取します。

断面



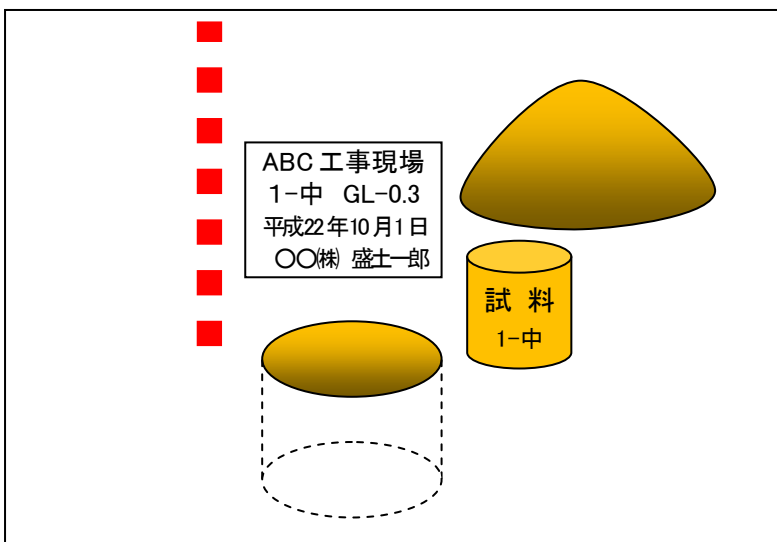
搬入する土砂の発生場所における試料採取写真の撮影

① 試料採取前の全景



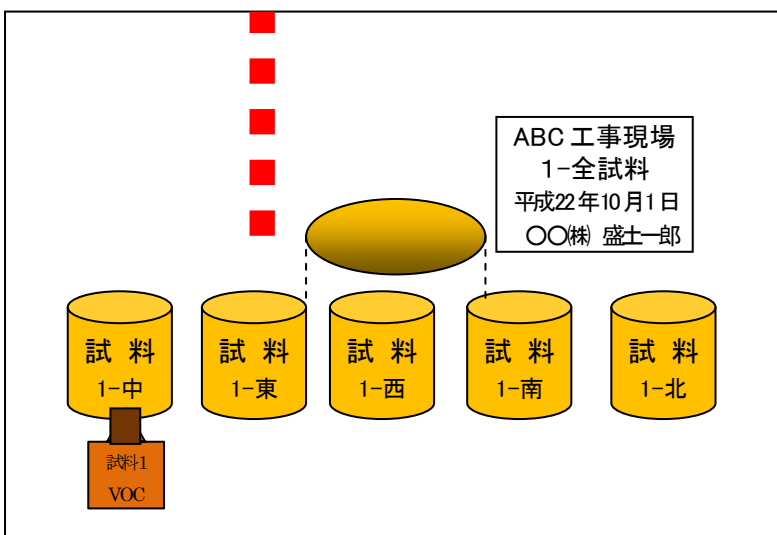
採取地点に目印となるポールを立て、5 地点すべてのポールが写るように撮影します。
黒板等には、工事等現場名、日付、採取者名を記入します。

② 個々の試料採取状況



個々の試料の採取深さ、採取状況及び採取した試料が確認できるように撮影します。
黒板等には、工事等現場名、試料名、採取深度、日付、採取者名を記入します。

③ 全試料採取後の写真



5 個の試料を並べて撮影します。
黒板等には、工事等現場名、試料名、日付、採取者名を記入します。